

四日市版コミュニティスクール報告書（令和6年度総括）

四日市市立塩浜小学校

校長 山田 賢治

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

塩浜小学校コミュニティスクールでは、塩浜小学校の「学校づくりビジョン」に掲げる学校教育目標「豊かな心をもち、自ら考え、進んで行動する子を育む」の達成に向け、学校・地域・保護者の連携を密にした協働を進めることをねらいとして活動しています。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

(1) 教育活動の実践

運営協議会は、「学識経験者、自治会代表、民生児童委員代表、社会福祉協議会代表、PTA代表、教職員代表等」で構成し、年間5回の会議を開催しています。保護者や地域住民の学校教育活動への参画のあり方を協議するとともに、具体的な取組内容や実施時期等について調整を図っています。

本校の学校づくりビジョンでは、重点目標として、「確かな学力の定着」「こころとからだの健全な育成」「よりよい未来社会を創造する力の育成」「すべての子どもの成長をサポートする教育の実現」「学校教育力の向上」の5つの柱を示しています。各回の運営協議会では、子どもの様子を参観していただき、学校教育活動に関わる様々な分野をテーマに活発に話し合いを行いました。また11月の運営協議会は小中学校合同で開催し、5・6年生も参加した中学校の文化祭を参観したのち、小規模化する中学校区の課題解決に向けて協議する機会を持つことができました。

今後も、「地域とともにある学校づくり」を進めていくため、コミュニティスクールにおいてよりよい学校のあり方を協議し推進していきます。

地域の教育力を生かした特色ある教育活動についての実践事例

地域の防災協議会による出前授業



地域探検てくてく



地域企業による出前授業



(2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

学校教育活動の参観や報告を通じて、委員の方々に学校の取組を理解していただくとともに、以下のような助言をいただくことができました。

- ・国語科の説明文のまとめや物語文の登場人物の紹介文をタブレットで作成するなど、掲示物からも授業の工夫や新しいことにチャレンジする取組が見てとれた。将来どんな力が必要になってくるのかを考えながら「書くこと」も大切にしていってほしい。



- ・「笑顔で挨拶」が浸透してきている。子どもたちの元気のよい挨拶が地域住民の活力にもなり地域づくりにつながっている。

- ・縦割り班活動を定期的に行うことができるのは小規模校ならではの。また、中学校の文化祭に5・6年生が参加することや小中合同避難訓練も同様。横のつながりだけでなく縦のつながりを大事にしている。



- ・キッズ農園での栽培・収穫体験等、地域との繋がりの中でも、子どもたちは様々な経験・体験をすることが出来ている。



- ・駅の構内に5年生が取り組んだ地域のことについて書かれた作品が飾られた。足を止めてみている人がたくさんいた。説明文の書き方の指導がされていることや、大人とは違った子どもの視点を知ることができた。新しい取り組みをしていることは素晴らしい。

- ・全国学力学習状況調査の分析を職員全員で行った。複数の資料を読み取り「○字以内でまとめなさい」というものが苦手な傾向がある。その学年で、身に付けるべき生きていく力を育んでいけるように授業改善に取り組んでいく。

- ・普段の研修以外に、「ミニ研」と称して教員同士で学び合うOJTを毎週打合せの最後に行っている。全員で授業力向上を目指し研鑽し合っている。



上記のような小規模校ならではの取組のほか、地域企業による出前授業など多様な学習体験の場の設定により、児童・保護者の各アンケートでは、「学校は楽しい」「楽しく学校生活を送っている」という質問に対する肯定的な回答の割合はそれぞれ84%・91%という結果が得られました。また、「地域の方にあいさつをしていますか」という質問には84%が肯定的な回答でした。保護者や地域の方々に、登下校をはじめ日々の活動を見守っていただいているお陰です。

3 今後に向けて

コミュニティスクールにおける委員の皆さんのご意見から学校の取組を一步ずつ前進させることができます。

小中合同で行った避難訓練については、来年度は地域の防災協議会とも連携し、より意義のある取組にしていきます。また、今年度初の取組であった小中合同での運営協議会についても、来年度は小学校で開催し交互開催にしていくことを確認しました。

一方、今後の課題として、「子どもたちには、多様な体験をさせることが肝要。体験することで、身になる・学べるものがたくさんある」「AI に頼らないで自分の頭で考える力を育むことが大事。地域や企業の出前授業等で、子どもたちに考える機会を与えることは継続してもらいたい。子どもたちのために、地域としてできることを一緒に考えていきたい」「子どもたちが ICT を存分に使いこなしていることに感心するが、一方でメディアリテラシーにも力を入れてもらいたい」「いじめの問題は、保護者が子どもの様子をよく見ておく必要がある。ダメなものはダメだと、子どもたちに徹底する必要がある」等のご意見をいただきました。

地域の方々の力を借りながら多様な他者と出会う機会を大切して、学ぶことが自分の人生や社会とつながっていることを子ども自身が理解し、生活や社会の中で出会う課題の解決に主体的に生かしていく力をつけていきたいです。これからも、連携を密にして地域とともにある学校づくりを進めていきます。

別紙B

令和6年度四日市版コミュニティスクール活動報告

四日市市立塩浜小学校

委員長　　今村　　清勝

校　長　　山田　　賢治

月	協議会の開催	活　動　内　容
4	第1回　運営協議会	認証式・1年生を迎える会の参観 今年度の年間計画紹介・教育活動協議
5		
6	第2回　運営協議会	校内参観（巡回） 1学期の取組紹介・教育活動協議
7		
8		
9	第3回　運営協議会	校内参観（巡回） 校内作品展参観・教育活動協議
10		運動会参観
11	第4回　運営協議会 （小中合同）	5・6年生参加の中学校文化祭参観 教育活動協議
12		
1		
2	第5回　運営協議会	6年生を送る会リハーサル公開参観 学校評価および本年度の総括
3		卒業式参列